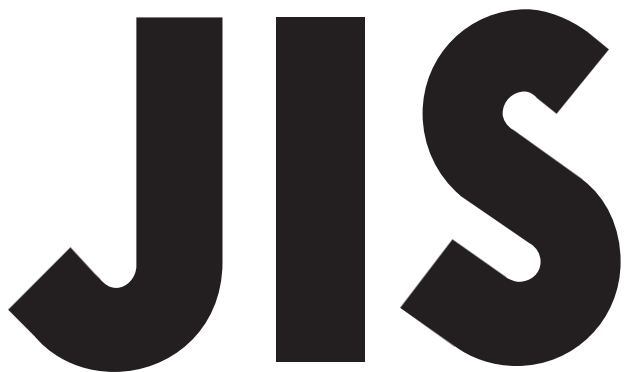




自動認識及びデータ取得技術－
RFID のサプライチェーンへの適用－
製品タグ付け，製品包装，輸送単位，リター
ナブル輸送器材及びリターナブル包装器材

JIS X 0560 : 2025
(ISO/IEC 17360 : 2023)
(JSA)

令和 7 年 11 月 20 日 制定

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 情報分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	渡 邊 創	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	相 蘭 敏 子	株式会社日立製作所
	安 形 輝	亜細亜大学
	島 健 夫	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会
	寺 田 真 敏	東京電機大学
	中 上 直 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	仲 谷 文 雄	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	永 沼 美 保	日本電気株式会社
	服 部 恵 二	総務省国際戦略局
	松 田 充 弘	独立行政法人情報処理推進機構

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 7.11.20
担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)
官 報 掲 載 日：令和 7.11.20
認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)
素 案 作 成 者：一般社団法人日本自動認識システム協会
(〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-9-5 FK ビル)
審 議 委 員 会：情報分野産業標準作成委員会 (委員長 渡邊 創)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。
なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	2
2 引用規格	2
3 用語及び定義	3
4 概念	4
5 一意のアイテム識別子	7
5.1 一般	7
5.2 UII データ要素	8
5.3 データキャリア	8
5.4 データフォーマット及び符号化	9
6 ラベル形 RF タグを付けた物品の識別	15
附属書 A (規定) 符号化	16
附属書 B (参考) 階層内及び階層間での区分	30
附属書 C (参考) RF タグの障害に備えたバックアップ	35
附属書 D (参考) RF タグの運用	37
附属書 E (参考) リターナブル包装器材	40
参考文献	51
解 説	54

まえがき

この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 0664:2015**、**JIS Z 0665:2017**、**JIS Z 0666:2017** 及び **JIS Z 0667:2017** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

自動認識及びデータ取得技術— RFID のサプライチェーンへの適用— 製品タグ付け，製品包装，輸送単位，リターナブル 輸送器材及びリターナブル包装器材

Automatic identification and data capture techniques—Supply chain applications of RFID—Product tagging, product packaging, transport units, returnable transport units and returnable packaging items

序文

この規格は，2023 年に第 1 版として発行された **ISO/IEC 17360** を基に，技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお，この規格で点線の下線を施してある事項は，対応国際規格にはない事項である。

この規格によって置き換えられた **JIS Z 0664:2015**，**JIS Z 0665:2017**，**JIS Z 0666:2017** 及び **JIS Z 0667:2017** と比較した，この規格での主な変更点は，次のとおりである。

- **JIS Z 0664:2015**，**JIS Z 0665:2017**，**JIS Z 0666:2017** 及び **JIS Z 0667:2017** を一つの規格へ統合
- UTF-8 を使用した 8 ビット符号化を追加
- UH のバイナリー符号化を追加
- 古いプロセス及び情報を更新

サプライチェーンは，原材料から最終製品に至るまでのあらゆる側面を対象とする多階層から成る概念であり，最終販売場所への出荷，使用，保守，場合によっては廃棄などを含んでいる。これらの階層は，それぞれ，製品を扱う多くの側面をカバーしており，各階層の業務プロセスは，独自のものであると同時に，他の階層と重複している。

この規格では，“製品”，“製品包装”，“輸送単位”，“リターナブル輸送器材 (RTI)” 及び “リターナブル包装器材 (RPI)” を，全て “アイテム” という。

この規格では，16 進数を “0xnn” と表記する。“0x” は，それに続く数値が 16 進数であることを示し，“nn” は，16 進数の値である。16 進数では，2 桁 (8 ビット，1 バイト) ごとにまとめ，間に半角スペースを入れて表記する (例えば，0x32 35 42，0x55 4E)。

この規格では，2 進数を “nnnn₂” と表記する。数値の末尾に下付き文字の “₂” を付けることで 2 進数であることを示し，“nnnn” は，2 進数の値である。2 進数では，4 桁 (4 ビット，1/2 バイト) ごとにまとめ，間に半角スペースを入れて表記する (例えば，0011 0010 0011 0101 0100 0010₂，0101 0101 0100 1110₂)。